

# 投資型クラウドファンディングに係る米英の制度比較

	米国※1	英国
法制上の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>JOBS法の施行後は可能 (施行前は事実上困難)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行規制の下で可能</li> </ul>
投資額等に係る規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>あり(募集総額及び各投資者の投資額 の上限、一定期間の譲渡制限)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>
仲介者	<ul style="list-style-type: none"> <li>SECに登録をした者(ブローカー又は ファンディング・ポータル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FCAの認可を受けた者※2</li> </ul>
仲介者に対する規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>SECによる監督</li> <li>リスクに関する情報等の提供義務</li> <li>発行者による詐欺のリスクを軽減する ための措置を講じる義務 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FCAによる監督</li> <li>投資者に対して、有価証券に関する 適切で、公正で、明確で、紛れのない 情報を提供する義務 等</li> </ul>
発行者に対する規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>SEC、投資者、仲介者への情報提供 義務 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集総額が12ヶ月間に500万ユーロ 以下の場合には、開示義務を免除</li> </ul>
自主規制機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>あり※3(登録義務あり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あり※3(登録義務なし、実務指針あり)</li> </ul>

※1 JOBS法施行後の規制について記載。

※2 投資勧誘の対象を限定する場合には、無認可の仲介者であっても取扱可能。なお、無認可の仲介者に対しては、本表の規制は適用されない。

※3 英国の自主規制機関は任意団体であり、法令に基づく機関ではない。他方、米国の自主規制機関は、1934年証券取引所法に規定されたもの。